

“By Love Serve”
名古屋柳城短期大学

ちゃべるにゅーす

第34号 2020年3月15日



2019年度 年間聖句

若者よ、お前の若さを喜ぶがよい。青年時代を楽しく過ごせ。
青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。

【コヘレトの言葉 11:9 12:1】

聖路加国際大学仮チャペル

立教大学・聖路加国際大学に行ってきました

2019年12月16日

専攻科保育専攻に所属する学生3名は、2名の教職員引率のもと、名古屋柳城短期大学と同じ日本聖公会に連なる聖路加国際大学と立教大学を訪れました。立教大学に訪問するのは今回で2回目です。以前、訪れたのは2019年3月11日——東日本大震災を覚えた特別な礼拝へ参列するためでした。2度目の訪問となる今回は、「キャロリング」というクリスマスイベントに参加しました。池袋の街を歩く立教大学の「キャロリング」はもちろん、初めて訪問した聖路加国際大学でうかがったお話も感慨深く、いずれも貴重な経験となりました。

(保育専攻 佐藤)



立教大学・聖路加国際大学チャペル・ビジット ～聖公会関係大学のチャペル交流の継続～

柳城キリスト教センターのボランティアとして今回の立教大学・聖路加国際大学のCVに参加して、柳城の母体となったキリスト教会である聖公会に連なる諸大学に共通する歴史と精神性を感じることができました。初めに訪れたのは聖路加国際大学のチャペルです。大迫力のオルガンが置かれているチャペルは工事中だったため、仮チャペルで上田憲明先生（聖路加国際大学チャプレン）のお話をうかがいました。木のぬくもりが感じられ、柔らかな陽光がチャペル全体をやさしく包み込む温かみのある空間でした。



聖路加国際大学仮チャペル

この素敵な場所で、上田先生は聖路加の歴史や働きについて話してくださいました。特に、今回訪問した学生3人が生まれる少し前の日本で起きた悲慘なテロ「地下鉄サリン事件」を契機にして、聖路加国際病院は「救急医療」に力を入れることとなり、現在も続いているというお話は、強く印象に残りました。また、聖路加国際病院が看護師も積極的に治療やケアに携わるような「チーム医療」を特色とする病院となった背景には、看護の母ナイチンゲールにより看護の重要性が確立・周知されていたイギリスから来日した医師の働きがあったというお話も印象的でした。看護と保育——まったく異なるようで、実は「誰かを“ケア”する仕事」という共通点がある…… 普段は保育を学んでいる私も、お話を聞きながら心が揺さぶられました。今春、卒業して保育士として働くことになりましたが、職員同士とも専門機関とも連携を取って、子どもを中心に子どもを第一に考えた「チーム保育」を実現したいと感じました。



聖路加国際大学トイセラハウス

次に訪れたのは立教大学です。2度目の訪問でしたが、春に訪れたときは景観がガラリと変わっていました。正門から見える2本の大きな木が無数の明かりをともしたクリスマスツリーに姿を変えて、私たちを迎えてくれました。

「キャロリング」出発前の礼拝では、「しお、せっけん、ろうそく」というこども賛美歌のお話を聞きました。将来、保育者としてこのお話のように、子どもたちや保護者のために尽力していきたいと強く思いました。また、こうした心持ちは、名古屋柳城短期大学の建学の精神である「愛をもって仕えよ」に通ずるものだと感じました。



立教学院諸聖徒礼拝堂

礼拝が終わり、いよいよ「キャロリング」です。クリスマスの訪れを知らせるため、聖歌を歌いながら街を練り歩くというキリスト教独自のクリスマスイベントが始まりました。初めてキャロリングに参加しましたが、立教大学の宗教委員や聖歌隊に所属する学生の皆さんが、地域の方や私たちを先導してくださったので、安心してイベントを楽しめました。キャ



キャロリングのキャンドル

ロリングの長い列を見た街の人も笑顔になったりスマホで撮影をしたりして楽しむ姿がありました。キャロリングは周りにも笑顔をもたらす素敵なイベントだと感じました。到着地の池袋西口公園では、立教大学の「ハンドベルクワイア」と聖歌隊によるクリスマスコンサートが行われました。初めて聴く楽曲も聴き慣れた曲も、ハンドベルと力強く優しい男声に加わることで、初めて聴くような感動があり、演奏会の時間があっという間に感じられました。



立教大学ハンドベルクワイアと聖歌隊によるクリスマスコンサート

このチャペル間交流がこれからも続き、聖公会に連なる諸大学がさらなる活気で満たされていくことを祈ります。貴重な機会をお与えくださった聖路加国際大学および立教大学の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

（保育専攻 佐藤）

2020年3月15日発行

チャペルにゆーす 第34号

発行所：名古屋柳城短期大学

名古屋市昭和区明月町2-54

発行：キリスト教センター